

宮小3年 11月25日 選果場見学

宮宿小学校
地域活動推進員
古田 雅子



ひとつひとつ丁寧に手作業でベルトコンベアに乗せられたりんごは、光センサーで糖度や色づきなどを判別し、等級ごとに箱詰めされるまでの行程がすべて自動で行われます。

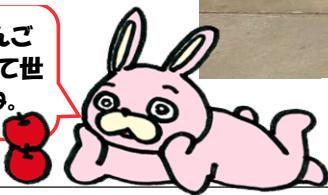


りんごのコンテナが積まれた広い部屋は冷蔵庫。この時期は「ふじ」が多いそうです。りんごはここで保管されて、出荷を待ちます。



この箱のりんごは、海外へ輸出されます。

朝日町の美味しいりんごは、ここから全国、そして世界へ旅立っているんだね。



最後に、ご案内いただいたJAの方と一緒に記念写真

天狗印のりんごでおなじみの段ボール。朝日町から全国へと出荷されます。

3年生17人がJAさがえ西村山果実流通センター（選果場）を見学しました。子どもたちはこれまでりんご学習として、摘花から収穫まで4回りんご畑を訪れてきました。今回はその仕上げとして、収穫されたりんごがどのように選果・箱詰めされ、朝日町から全国へと出荷していくのか学びました。ひんやりとした冷蔵室ではコンテナが品種ごとに積み上げられ、りんごの香りでいっぱいでした。最新式の光センサーによる選果や、トレーに乗せるだけで箱詰めまで完了するオートメーション化された技術に驚きつつ、しっかり見学しました。りんご農家さんが丹精をこめて育てた朝日町のりんごが最新の技術で、全国だけでなく、世界に届けられていることを実感する学びとなりました。